

単施設研究用

「研究課題名：重症患者に対する人工膵臓を用いた血糖管理の有効性」に関する情報公開

1. 研究の対象

- ・2019年10月1日～2020年9月30日に当院外科系集中治療室に入室された方
- ・血糖値管理に人工膵臓（STG-55）を用いた方

2. 研究目的・方法・研究期間

高血糖は免疫機能の低下や炎症の悪化を招くために、病気の予後に影響を及ぼす重要な因子となっています。高血糖に対する基本的な治療はインスリンを使用（点滴・皮下注射）していますが、重症の病気の場合には使用量の調整が変動して、血糖値管理が困難な場合があります。また、多量のインスリン使用は低血糖のリスクを伴います。当院の外科系集中治療室では、血糖値管理が困難な場合には「人工膵臓（STG-55）」という自動的に血糖値を測定してインスリン治療を行う装置を使用しています。本研究では、過去に人工膵臓を使用して血糖値管理を行った患者さんを対象に、人工膵臓の安全性および有用性を電子カルテの情報を用いて確認します。研究期間は2022年3月31日までとなります。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：人工膵臓の使用状況（インスリン使用量や血糖値）、血液検査での血糖値、低血糖・高血糖イベント、入院中の炎症反応（CRP）、腎機能（クレアチニン値・eGFR）、栄養投与量
年齢・性別・身長・体重・糖尿病の有無と術前HbA1c・現病歴・既往歴 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：名古屋市昭和区鶴舞町 65 電話：052-744-2340

担当者：名古屋大学医学部附属病院 麻酔科 藤井祐

研究責任者：

名古屋大学大学院医学系研究科 麻酔蘇生医学 西脇公俊